



にしもと ひさお 議員
西本 久雄 議員

地域経済・雇用

目標達成に向けた過程と見解は？

町長／工業・産業団地を造成、企業進出を支援する

西本：「第5次広野町町勢振興計画・基本構想」において、目標年度を2025年としています。

利便性の高い生活環境づくりとして駅東側の開発・整備、駅西側役場周辺の商業・医療サービスの集積とありますが、9年経過し、どのような方針を取られてきたのか伺います。

町長：「双葉郡復興の拠点となる環境と共生した利便性の高いまち」を標榜し、東日本大震災・原子力事故後の「ふるさと復興・創生」に資する事業を展開してきました。役場前に建設した「ひろのてらす」は住民帰還の促進に大きな役割を果たしました。復興・創生の拠点とした広野駅東側開発整備事業では、第一期開発として産業団地を造成し、企業誘致による地元雇用の創出を進め、これまでオフィスビル

やビジネスホテル、医療機関などが進出しており、第二期開発では、47区画の住宅団地を造成し、移住・定住の受け皿として、人口減少に歯止めをかけるべく取り組みを進めました。

また、「未来の架け橋」を整備し、駅構内の跨線橋と合わせエレベーターを設置するなど、バリアフリー化にも取り組み、駅利用者への利便性を向上させました。

今後、広野駅舎の改修及び駅西側ロータリーの整備を実施し、更なる利便性の向上に向け取り組みを進めていきます。

西本：若い世代、働き世代への雇用の創出、また新たな産業の創出への取組は、どの様にしているのか伺います。

町長：地元雇用の確保を念頭に、広野工業団地の再造成や駅東側産業団地、東町産業団地の新規造成にも取り組み、自立・帰還支援雇用創出企業立地交付金を活用した企業誘致を進めてきました。

新たな産業の創出としては、福島イノベーション・コースト構想、福島国際研究教育機構（エフレイ）の具現化に伴い、協定を締結している大学などの研究機関と並走するベンチャー企業やイノベーションを起す意欲のある企業の進出を支援してまいります。



オープン8周年を迎えた「ひろのてらす」

おむつ定期便

広野町での実施は？

町長／ニーズを捉えて検討する

西内：兵庫県明石市の「5つの無料化」を中心とした子育て支援政策が注目されています。「5つの無料化」の内容は、こども医療費の無料化、第2子以降の保育料の完全無料化、0歳児の見守り訪問「おむつ定期便」、給食費の無料化、公共施設の入場料無料化となっています。

この内、0歳児の見守り訪問「おむつ定期便」の本町での実施について、町長のお考えを伺います。

町長：町は、子育て家庭の経済的支援として、出産祝金・小中学校入学祝金の支給、チャイルドシート購入助成、給食無償化など町独自の支援を行っています。令和6年度からは、新たに0歳児から2歳児の広野町民の保育料の無償化を実施します。0歳児の見守り訪問につきましては、保健師において、赤ちゃん訪問を実施することにより、子育ての不安や悩みの相談を受けており、経過観察が必要な家庭については、訪問や電話連絡等、継続的な支援を実施しています。

加えて、令和6年度からは家事・育児等の不安や負担を抱える子育て家庭等を対象とした「子育て世帯訪問支援事業」を実施する予定です。

現在、令和7年度から令和11年度までの5年間を計画期間とする第3期広野町子ども子育て支援計画策定に向けアンケート調査を実施しており、0歳児の見守り訪問「おむつ定期便」については、子育て世帯のニーズを的確に捉えて検討していきます。

「5つの無料化」に係る広野町の支援状況

| 区分 | 広野町の支援状況 |
|-------------------|--|
| こども医療費 | 18歳以下の医療費を無料化。 ※福島県内全市町村で実施 |
| 給食費 | 広野小中学校生・こども園児の給食無償化。 |
| 公共施設の入場料 | テニスコート、体育館、パークゴルフ場等で子ども料金を設定。 |
| 保育料 | 令和6年度より0歳児から2歳児の広野町民の保育料を無償化。 ※延長保育を除く |
| 0歳児の見守り訪問「おむつ定期便」 | 0歳児の見守り訪問を実施。 毎月おむつ等の子育て用品を自宅に届ける「おむつ定期便」は今後検討。 |



にしうち げんた 議員
西内 玄太 議員